

中心市街地活性化に関する 住民意向調査の結果

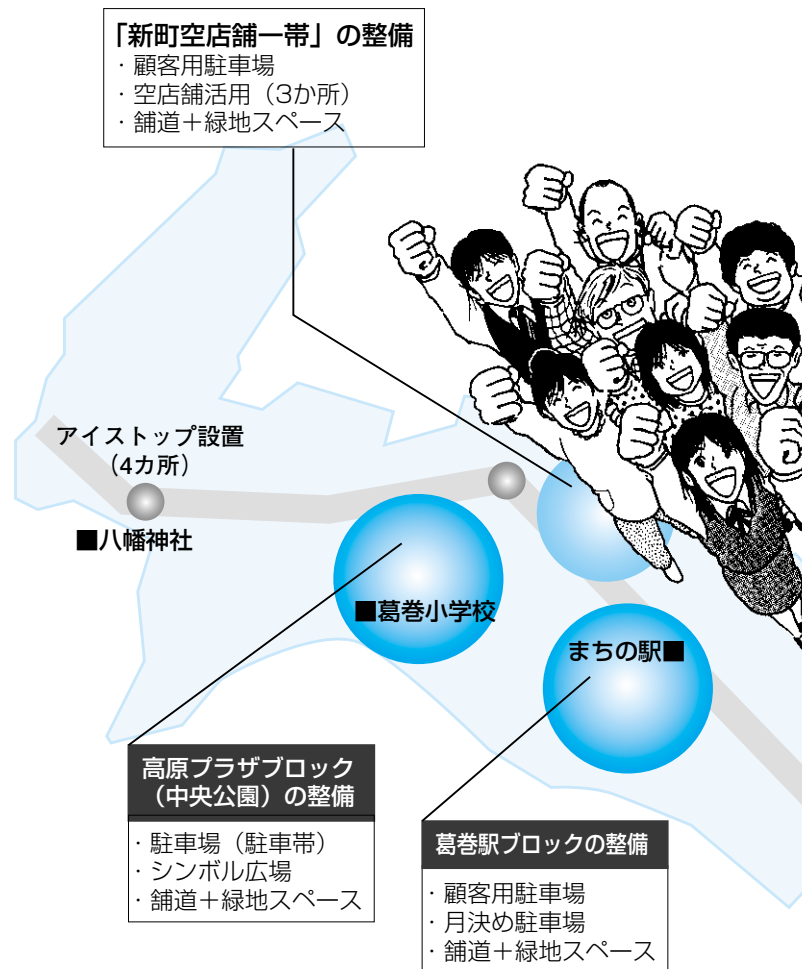
調査は町内小中学校の児童生徒をもつ300世帯を対象に平成16年12月実施し、296票が回収されました。調査の回答者は女性が69.4%（うち30～40代82.7%）で、複数回答での上位3位まで掲載しています。（一部抜粋）

- Q 中心商店街の駐車場は、どのような形が望ましいか**
 ①店の前に設置(52.9%) ②駐車台数が多くスペースも広い駐車場(47.8%) ③店近くの空き地などを利用(42.4%)
- Q 中心市街地の空き店舗はどの用途に活用したらよいか**
 ①商業施設(42.7%) ②建物を撤去して駐車場(38.9%) ③公共的な施設(37.2%)
- Q 商業施設の場合、どんな業種が望ましいか**
 ①小売店(40.8%) ②サービス関連の店(32.4%) ③飲食店(31.0%)
- Q どんな活用が望ましいか**
 ①子どもの遊び場(37.4%) ②お休み処(33.6%) ③お年寄りの生きがい活動(29.0%)
- Q あなたがよく利用する中心商店街の店で気になる点**
【商品】 ①品数やサービスの種類が少ない(58.0%) ②品質が悪い(28.3%) ③町内の他店と比べて高い(27.3%)
【サービス】 ①値引きやサービスがない(46.8%) ②営業時間が短い(20.1%) ③特に気になる点はない(17.1%)
【施設・設備】 ①顧客用の駐車場がない。遠い(46.6%) ②顧客用のトイレがない(14.6%) ③店内のレイアウトがよくない(13.3%)
- Q JRバス葛巻駅一体はどのように整備活用すべきか**
 ①中心商店街を利用する人の駐車場(60.0%) ②「まちの駅」を中心とした物販・飲食施設(48.5%) ③商店街や国道281号の利用者の休憩施設(32.9%)
- Q 中心商店街がある国道281号沿道はどのように整備活用すべきか**
 ①セットバック方式(34.9%) ②バイパス整備を促進(34.2%) ③道路拡幅事業・区画整理事業(33.9%)

葛巻町TMO構想・事業構想図

中心市街地エリア

この構想による中心市街地エリアは、城内小路から下町、新町、浦子内(大明神、田の沢)、茶屋場の元町橋までの区域です。



中心市街地活性化法
 中心市街地の活性化を図るため、地域の創意工夫で事業を効率よく一体的に推進することを目的に平成十二年に制定。中心市街地活性化基本計画を策定した市町村の認定を受けると、TMOが行う事業に対し、国からさまざまな支援が受けられます。
 中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律の略称

委員会はこの調査結果を踏まえ、中心市街地の現状と課題を把握し、協議を重ねながらTMO事業の構想をつくりました。

策定にあたっては、城内小路から茶屋場までの各自治会代表者や一般町民の代表者、学識経験者、商工会役員、行政関係者などで構成するTMO構想策定委員会と、ワーキンググループ委員会が設置されました。
 町内の小中学生をもつ家庭を対象に「中心市街地活性化に関する住民意向調査」も実施されました。アンケート調査では、駐車場の不足、商店の品質管理やサービス不足に関する意見や要望が多く、消費者ニーズの多様化に対応できない商店街の姿が浮かび上がりました。